ＹＭアセット・優良米国株ファンド

愛称 ： トリプル維新（プレミア合衆国）

追加型投信／海外／株式

信託期間　：無期限
決算日　　：毎年1、4、7、10月の各20日（休業日の場合翌営業日）　　基 準 日 ： 2026年9月30日

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

«基準価額・純資産の推移»

2026年9月30日現在

基準価額	12,889 円
純資産総額	150億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-4.8 %
3カ月間	-5.2 %
6カ月間	+13.2 %
1年間	+14.4 %
3年間	+69.7 %
5年間	+117.6 %
年初来	+3.3 %
設定来	+291.4 %

当初設定日（2017年4月21日）～2026年9月30日

※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（8ページ目の«ファンドの費用»をご覧ください）。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

«分配の推移»

（1万口当たり、税引前）

決算期（年/月）		分配金
第1～25期	合計：	7,600円
第26期	(23/10)	450円
第27期	(24/01)	500円
第28期	(24/04)	500円
第29期	(24/07)	500円
第30期	(24/10)	500円
第31期	(25/01)	500円
第32期	(25/04)	300円
第33期	(25/07)	500円
第34期	(25/10)	500円
第35期	(26/01)	500円
第36期	(26/04)	500円
第37期	(26/07)	500円
分配金合計額	設定来：	13,350円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

«主要な資産の状況»

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入ファンド　合計99.5%

ファンド名	運用会社名	比率
次世代米国代表株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント	99.5%
マネープールファンド	三菱UFJアセットマネジメント	0.001%

※ファンド名は「（FOFs用）」および「（適格機関投資家限定）」を省略しています。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするためにワイエムアセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。10ページ目の«当資料のお取り扱いにおけるご注意»をよくお読みください。

設定・運用
YMfg | ワイエムアセットマネジメント
商号等　ワイエムアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　中国財務局長（金商）第44号
加入協会　一般社団法人資産運用業協会

«次世代米国代表株ファンドの運用状況»

※三菱UFJアセットマネジメントが提供するデータ等を基にワイエムアセットマネジメントが作成したものです。

資産別構成

資産	比率
実質外国株式組入比率	96.7%
内　現物	96.7%
内　先物	0.0%
短期金融資産	3.3%
合計	100.0%

株式 業種別構成　合計96.7%

業種名	比率
金融	23.0%
テクノロジー	19.0%
工業	15.2%
ヘルスケア	14.8%
一般消費財	9.4%
通信	5.4%
生活必需品	3.9%
原材料	3.8%
エネルギー	2.3%

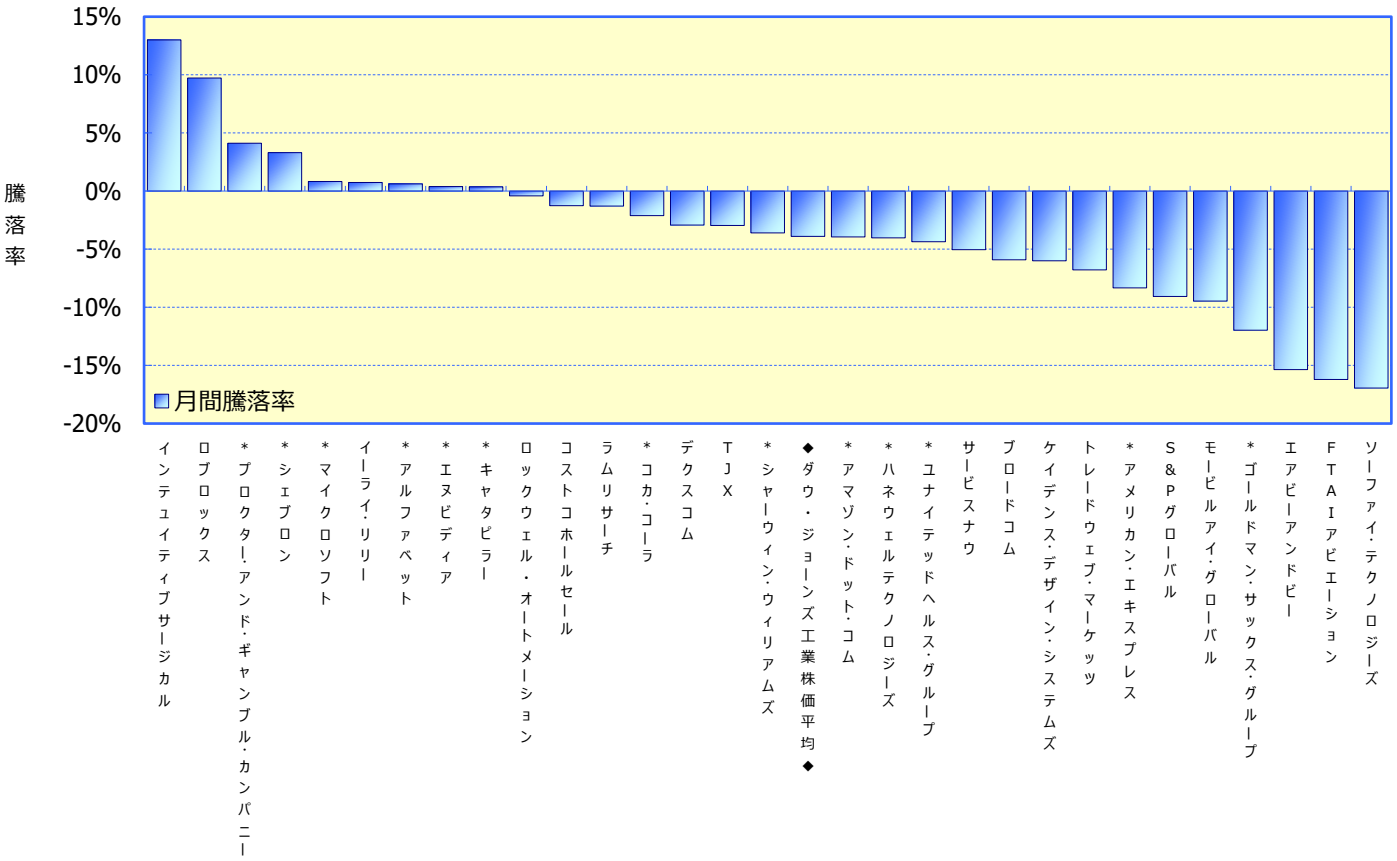
組入上位10銘柄　合計57.1%

（組入銘柄数: 30銘柄）

銘柄名		業種名	比率
CATERPILLAR INC	*キャタピラー	工業	8.9%
GOLDMAN SACHS GROUP INC	*ゴールドマン・サックス・グループ	金融	7.9%
MICROSOFT CORP	*マイクロソフト	テクノロジー	6.9%
AMERICAN EXPRESS CO	*アメリカン・エキスプレス	金融	6.6%
AMAZON.COM INC	*アマゾン・ドット・コム	一般消費財	5.9%
ELI LILLY & CO	イーライ・リリー	ヘルスケア	5.4%
UNITEDHEALTH GROUP INC	*ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア	4.6%
ALPHABET INC-CL A	アルファベット	通信	3.8%
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	*シャーウィン・ウィリアムズ	原材料	3.8%
INTUITIVE SURGICAL INC	インテュイティブサージカル	ヘルスケア	3.4%

※上記データは、四捨五入の関係で合計の数値と一致しない場合があります。
※資産別構成、組入上位10銘柄は、株式ポートフォリオ（現金含む）に対するものです。
※株式 業種別構成は、現物株式評価額に対するものです。
※株式 業種別構成および組入上位10銘柄の業種名は、原則としてブルームバーグ業種分類基準（BICS）によるものです。
※「＊」付き銘柄名称は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均の構成銘柄を表します。

【参考】組入全銘柄およびダウ・ジョーンズ工業株価平均の月間騰落率



（出所：LSEGのデータを基にワイエムアセットマネジメント作成）
※上記は個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
※上記銘柄は、当ファンドが基準日時点で組み入れている銘柄であり、保有期間等を考慮したものではありません。
※各銘柄およびダウ・ジョーンズ工業株価平均の騰落率は、１ヶ月間の騰落率（米ドルベース）です。
※上記データは、参考のために簡便的に計算したものであり、その正確性、完全性等を保証するものではありません。また、当ファンドへの寄与度、運用成果とは異なります。
※「＊」付き銘柄名称は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均の構成銘柄を表します。

«ファンドマネージャーのコメント»

※以下は、次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）に関するコメントです。

投資環境

【長期金利の上昇などを背景に、下落】

米国株式市場は下落しました。月初から、原油高を背景に利上げ観測が強まり、長期金利が上昇したことなどから株価は下落しました。中旬のFOMC(連邦公開市場委員会）では利上げとともにタカ派的な見通しが示されました。その後、半導体関連株などに支えられて持ち直す局面もありましたが、長期金利の上昇などを受けて月末にかけて反落し、月間でも下落しました。

為替市場については、米ドルは対円で下落（円高）しました。

運用経過

【参考指数を上回る運用成果】

（１）運用成果とその要因

当ファンドの基準価額は下落しましたが、参考指数を上回る運用成果となりました。「インテュイティブサージカル」の保有などがプラスに寄与しました。

（２）売買動向

業績動向と株価水準を考慮し、個別銘柄の組入比率の調整を行いました。銘柄入替は行っておりません。

今後の運用方針

【好悪材料混在の中、当面上値下値ともに限定的】

（１）基本スタンス

いったんは収束の方向性がみえたイラン情勢は、再び混迷の度を深めています。インフレの高止まりが警戒される中、利上げが実施されるなど、高水準な政策金利が長期化するとの見方が強まっています。企業業績は堅調に推移していることから、株式市場の下値は限定的である一方で、長期金利が高水準で推移するとの見方が強まっていることや、AI(人工知能）関連投資の持続性への懸念が続いていることなどから、当面の上値もまた限定的と予想します。

（２）注目する業種・分野など

当ファンドは、米国特有の大きなイノベーションが起こっている分野に注目して、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。景気や金利の動向についての不透明感は、完全には払拭されていない状況ですが、マクロ動向の如何にかかわらず、イノベーションなどの中長期的な投資テーマに変化はないものと考えます。現在は、米国の強みでもあるインターネットとそれに伴う消費関連分野、AIを含むソフトウェアやサービスとそれを支える半導体、ヘルスケア領域における先進的な医療など、中長期的に妙味があると考える領域で事業を行う企業の成長に注目しています。同時に、比較的歴史のある企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応し続けている優良企業にも目を配っています。投資対象銘柄の中長期的な成長余地は大きいと判断しています。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均（ダウ工業株30種）とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY（ニューヨーク）ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。

※コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。
※また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行なわれない場合があります。
※表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

組入株式全銘柄コメント

※以下は、次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）に関するコメントです。

	銘 柄	概 要
1	CATERPILLAR INC (キャタピラー)	世界最大級の重機メーカーです。主力製品は資源開発・建設業者向けの油圧ショベル、ブルドーザー、工業用エンジン等です。コスト削減等を通じて効率的なオペレーションを構築しています。発電設備も手掛けており、データセンター向けなどの需要拡大の恩恵が期待されます。（ダウ・ジョーンズ工業株価平均の構成銘柄）
2	GOLDMAN SACHS GROUP INC (ゴールドマン・サックス・グループ)	銀行持ち株会社大手です。グローバルに投資銀行業務や、資産運用、証券サービスなどの業務を展開しています。事業ポートフォリオの改善により、同社の強みを生かした投資銀行業務などへの注力が見込まれ、中長期的な成長が期待できます。（ダウ・ジョーンズ工業株価平均の構成銘柄）
3	MICROSOFT CORP (マイクロソフト)	大手ソフトウェア・クラウド企業です。パソコン用基本ソフトウェアや業務用ソフトウェア等で高い市場シェアを持ち、クラウドサービス「Azure」、Microsoft 365、業務アプリケーション、ゲーム関連事業などを展開しています。近年は生成AI機能の組み込みやクラウド需要の拡大を背景に、成長が期待されます。（ダウ・ジョーンズ工業株価平均の構成銘柄）
4	AMERICAN EXPRESS CO (アメリカン・エキスプレス)	ＡＭＥＸブランドで有名なクレジットカード会社です。高所得者を中心にアメリカン・エキスプレス・カードを発行し、会員向けに金融、旅行手配、保険などの総合金融サービスを展開しています。米国景気の拡大、キャッシュレス化の動きなどの恩恵を受けると考えています。（ダウ・ジョーンズ工業株価平均の構成銘柄）
5	AMAZON.COM INC (アマゾン・ドット・コム)	書籍販売から始まった世界有数のEコマース企業で、幅広い商品販売とAmazonプライム特典拡充により利用者拡大を図っています。また、収益の柱の一つであるアマゾン・ウェブ・サービス（AWS）を通じて、クラウドコンピューティング、データ基盤、生成AI・機械学習関連サービスなどを提供しており、AI関連需要の拡大による恩恵も期待されます。（ダウ・ジョーンズ工業株価平均の構成銘柄）
6	ELI LILLY & CO (イーライ・リリー)	製薬会社大手です。医薬品の開発・製造・販売を手掛けています。米国のほか、欧州、アジアなど世界各地で事業を展開しています。糖尿病・肥満症などの代謝領域や腫瘍領域、中枢神経領域などに強みがあり、中長期的には肥満症治療薬が成長を牽引することが期待されます。
7	UNITEDHEALTH GROUP INC (ユナイテッドヘルス・グループ)	傘下の「ユナイテッド・ヘルスケア」は、企業や個人向けの医療保険に加え、高齢者や退職者向けの医療給付サービス等を提供しています。傘下の「OPTUM」は、包括的なヘルスケアサービスを提供しています。医療関連のニーズは底堅く、同社の業容拡大余地は大きいと考えています。（ダウ・ジョーンズ工業株価平均の構成銘柄）
8	ALPHABET INC-CL A (アルファベット)	インターネット検索サイト（グーグル）を運営している企業です。インターネット検索サービスに加え、動画共有サイト（ユーチューブ）を中心に広告収益を獲得しています。米国内に加えて欧州をはじめとする米国外でも高い市場シェアを有しており、世界的なオンライン広告市場拡大の恩恵を受けた業績の高成長が期待できます。また、AI需要の拡大を背景に、クラウド事業や独自開発のAI半導体事業の成長も期待しています。（ダウ・ジョーンズ工業株価平均の構成銘柄）
9	SHERWIN-WILLIAMS CO/THE (シャーウィン・ウィリアムズ)	大手塗料会社です。塗料、コーティング剤、関連製品の製造、流通、販売を手掛けています。同社の製品は、主に北・南米の専門塗料業者をはじめ、工業、商業、小売りの各産業に販売されています。（ダウ・ジョーンズ工業株価平均の構成銘柄）
10	INTUITIVE SURGICAL INC (インテュイティブサージカル)	手術支援ロボットシステムと関連機器等の開発を手掛けています。同社の手術支援ロボットシステムは、従来の開腹手術と比べ、より高い施術精度が得られる他、傷口が小さく患者への負担が少ない等の利点を備えています。

※上記は個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
※コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。
※また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行なわれない場合があります。

組入株式全銘柄コメント

※以下は、次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）に関するコメントです。

	銘 柄	概 要
11	BROADCOM INC (ブロードコム)	大手半導体企業であり、ソフトウェア関連のサービスも提供しています。半導体事業では、カスタム半導体事業を手掛けており、グーグルなどハイパースケーラー（大規模なクラウド事業者）向け事業の成長が期待できます。
12	ROCKWELL AUTOMATION INC (ロックウェル・オートメーション)	制御装置大手です。産業用オートメーション機器の製造の他、生産プロセス効率化のためのソリューションとサービスを提供しています。製造業の米国回帰や、自動化の進展からの需要も期待できます。
13	TJX COMPANIES INC (TJX)	アパレルやホームファッションのディスカウントストアを手掛けます。有名ブランドの処分品などを購買力を活かして大量に仕入れ、格安で販売する事業モデルが消費者ニーズに合致していると考えられ、今後の成長を期待しています。
14	SOFI TECHNOLOGIES INC (ソーファイ・テクノロジーズ)	フィンテックに分類される金融会社です。オンラインでパーソナルファイナンスおよび銀行業務に従事。学生ローンの借換えをはじめ、住宅ローン、個人ローン、クレジットカード、投資、銀行業務などの金融商品をモバイルアプリとデスクトップインターフェースを介して提供しています。高い利便性などを強みに高い成長が期待できます。
15	SERVICENOW INC (サービスナウ)	企業向けクラウドソフトウェア企業です。ITサービス管理を中心に、IT運用、カスタマーサービス、人事、セキュリティ、業務ワークフローの自動化などを支援するクラウドプラットフォームを提供しています。近年はAIを活用した業務効率化ソリューションにも注力しています。
16	TRADEWEB MARKETS INC-CLASS A (トレードウェブ・マーケッツ)	国債、社債、金利デリバティブ、ETFなどの電子取引市場を運営し、機関投資家と証券会社、流動性供給者を結んでいます。債券取引の電子化は中長期的な成長要因であり、特に社債など電子化余地のある市場の拡大が期待できます。
17	S&P GLOBAL INC (S&Pグローバル)	金融情報サービス会社です。世界の資本市場やコモディティ市場を対象に、信用格付け、指数、ベンチマーク、分析、データ、リサーチなどを提供しています。世界各地で幅広く事業を展開しています。
18	FTAI AVIATION LTD (FTAIアビエーション)	航空機エンジンの整備・修理・交換をはじめ、航空機やエンジンのリース事業を展開する企業です。エンジンのメンテナンスを従来よりも迅速かつコスト効率の高い方法で提供している点が特徴です。航空機需要の増加や長期運用のニーズを背景に、今後も事業の拡大が期待できます。
19	NVIDIA CORP (エヌビディア)	大手半導体企業です。データセンター向けに、GPUに加え、CPUやネットワークなど、AIインフラに必要な製品・ソリューションを提供しています。また、CUDAをはじめとするソフトウェアや、高速GPU間通信技術であるNVLinkなどのエコシステムにも強みを有しており、AIインフラ分野において高い競争力を持っています。（ダウ・ジョーンズ工業株価平均の構成銘柄）
20	CHEVRON CORP (シェブロン)	石油メジャーの一角です。川上（石油・天然ガスの探査・開発等）から川下（精製・販売等）まで総合的に事業を手掛けています。株主への配当の維持・成長を重視する企業です。（ダウ・ジョーンズ工業株価平均の構成銘柄）

※上記は個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
※コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。
※また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行なわれない場合があります。

組入株式全銘柄コメント

※以下は、次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）に関するコメントです。

	銘 柄	概 要
21	LAM RESEARCH CORP (ラムリサーチ)	半導体製造装置の大手企業です。前工程で用いる成膜装置、エッチング装置、洗浄装置に強みがあります。エッチング装置に関しては、世界トップクラスのシェアを誇っており、半導体市場の成長の恩恵を受けることが期待できます。
22	DEXCOM INC (デクスコム)	医療機器メーカーです。糖尿病患者向け血糖値モニタリングシステムの設計・開発に注力しています。皮下組織で血糖値を常時測定する小型機器と、指定された間隔で送信される血糖値を読み取るための小型体外受信機の開発を行っています。糖尿病は患者数が多いことから、同社製品への需要も大きいと予想しています。
23	COSTCO WHOLESALE CORP (コストコホールセール)	会員制倉庫型店舗を展開しています。食品、自動車用品、玩具スポーツ用品等の商品を低価格で提供しています。米国中心の店舗展開を行っていましたが、英国、日本、台湾等にも進出しており、海外事業が新たな収益源として期待できます。
24	COCA-COLA CO/THE (コカ・コーラ)	飲料メーカー大手です。多数の飲料を製造し、世界各国で事業を展開しています。炭酸飲料とジュースの販売額が大きく、各国地域の提携先ボトラーに原液を供給し、製品の企画開発や広告とマーケティングを行います。（ダウ・ジョーンズ工業株価平均の構成銘柄）
25	ROBLOX CORP -CLASS A (ロブロックス)	無料で使用できる没入型の接続とコミュニケーションのためのプラットフォーム「Roblox Platform」を運営しています。このプラットフォームでは、世界中のクリエイターコミュニティが構築した体験を通じて、人々が制作、遊び、仕事、学び、お互いにつながることができます。
26	CADENCE DESIGN SYS INC (ケイデンス・デザイン・システムズ)	半導体・電子回路の設計（ＥＤＡ）ツールの開発を行っています。AI、モバイル、クラウド、自動車、航空向けの開発ツール等に強みを持っています。半導体開発の重要な部分を担っており、今後の成長が期待できます。
27	PROCTER & GAMBLE CO/THE (プロクター・アンド・ギャンブル)	日用品メーカー大手です。多彩なブランドを展開し、洗剤、清掃用品、紙製品、美容製品などを世界各地で販売しています。ブランド力が強いことでも知られています。（ダウ・ジョーンズ工業株価平均の構成銘柄）
28	HONEYWELL TECHNOLOGIES INC (ハネウェルテクノロジーズ)	ハネウェルインターナショナルが2026年6月29日に航空宇宙事業をスピンオフした後の存続会社です。ビルディング・オートメーション、産業オートメーション、エネルギー・サステナビリティを中核事業とします。（ダウ・ジョーンズ工業株価平均の構成銘柄）
29	MOBILEYE GLOBAL INC-A (モービルアイ・グローバル)	カメラやコンピューターチップ、ソフトウェアを含む自動運転技術及び先進運転支援システム（ADAS）を開発するテクノロジー企業です。自動車に搭載される各種機能の増加とともに、収益伸長が期待できます。
30	AIRBNB INC-CLASS A (エアビーアンドビー)	旅行に関するオンライン・マーケットプレイス運営会社です。ウェブサイトやモバイルアプリケーション経由で宿泊、ホームステイ、体験サービスなどを提供しています。世界各地で事業を展開しており、宿泊需要の高まりの恩恵を受けることが期待できます。

※上記は個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
※コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。
※また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行なわれない場合があります。

ファンドの特色

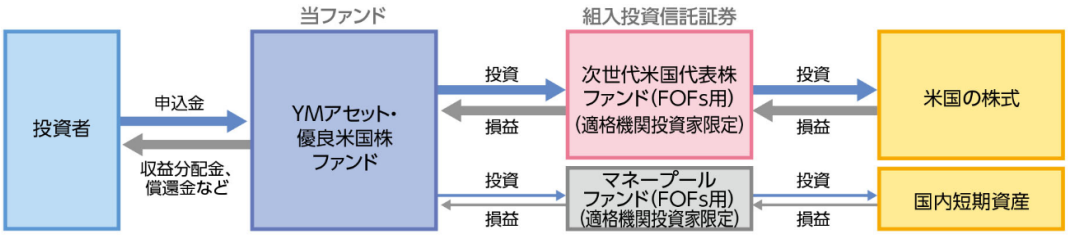
1. 投資信託証券への投資を通じて、主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると委託会社が判断した企業の株式に投資します。
   ◆ニューヨーク証券取引所に上場している企業および NASDAQ※1 に登録されている企業の株式を投資対象とします。
   ◆為替ヘッジを行なわないため、為替相場の変動による影響を受けます。
   ◆NY ダウ※2 における構成銘柄を参考にポートフォリオの構築を行ないます。
   ◆今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、30 銘柄程度に投資を行ないます。
   ※1 NASDAQ とは、National Association of Securities Dealers Automated Quotations の略称で、米国のディーラーが売買値を提示し取引を行なうコンピューター・ネットワーク・システムのことです。このシステムを通じて売買される銘柄を NASDAQ 銘柄と称しています。
   ※2 NY ダウとは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する 30 銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「ダウ・ジョーンズ工業株価平均」、「ダウ工業株 30 種」などと呼ばれています。なお、同指数はファンドのベンチマークではありません。

2. 年 4 回決算を行ない、基準価額に応じた分配金の支払いをめざす、分配金額をあらかじめ提示する「予想分配金提示型」ファンドです。
   ◆毎年 1、4、7、10 月の各 20 日（休業日の場合、翌営業日）に決算を行ない分配金の支払いをめざします。
   ※基準価額は 1 万口当たりとし、既払分配金を加算しません。
   ◆計算期末の前営業日の基準価額に応じ、下記の金額の分配をめざします。

計算期末の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）
10,500円未満	配当等収益の水準を考慮して決定した額
10,500円以上11,000円未満	300円
11,000円以上11,500円未満	350円
11,500円以上12,000円未満	400円
12,000円以上12,500円未満	450円
12,500円以上	500円

※計算期末の直前から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわないことがあります。
※基準価額に応じて、四半期ごとの分配金額は変動します。基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。
※分配により基準価額は下落します。このため、次期以降の分配金額は変動する場合があります。
※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
※ファンドの基準価額は変動します。投資元本、利回りが保証されているものではありません。

3. 当ファンドは、以下の 2 本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。



◆組入投資信託証券の運用については、三菱 UFJ アセットマネジメント株式会社が行ないます。
◆投資信託証券の組入比率は、通常の状態で「次世代米国代表株ファンド（FOF s 用）（適格機関投資家限定）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。
◆大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、ファンドの特色 1.の運用が行なわれないことがあります。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

«投資リスク»

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

«ファンドの費用»

お客さまが直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 **＜上限＞2.2%（税抜 2.0%）**	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	―
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用（信託報酬）	**年率 0.9625% （税抜 0.8750%）**	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了の時に信託財産中から支弁します。
投資対象とする投資信託証券（注 1）	年率 0.5775%（税込）	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用	**年率 1.54%（税込）程度**	
その他の費用・手数料	（注 2）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

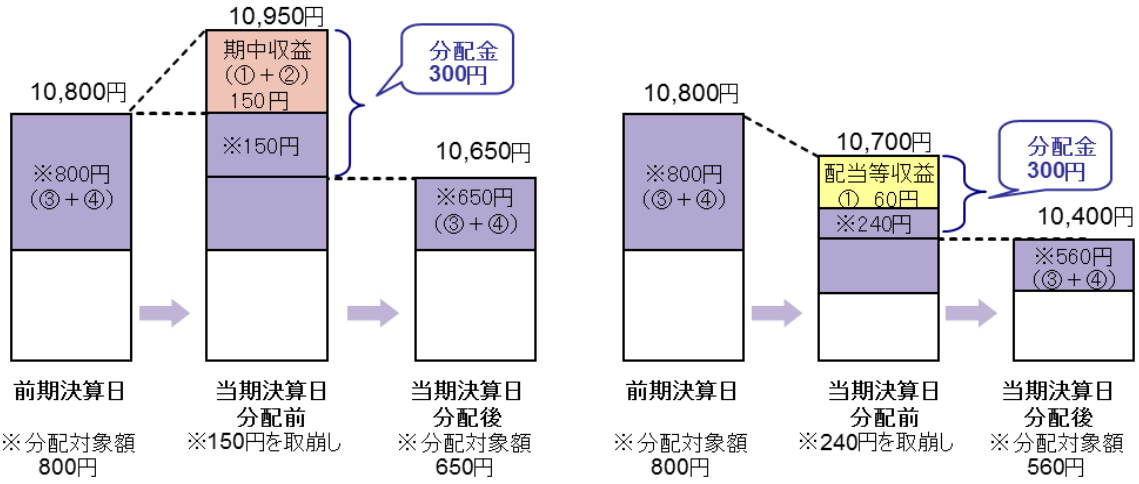
（注 1）ファンドが投資対象とする投資信託証券のうち信託報酬が最大のものを表示しています。
（注 2）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合せください。
※手数料等の合計金額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

◆ **分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。**

◆ **分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。**

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

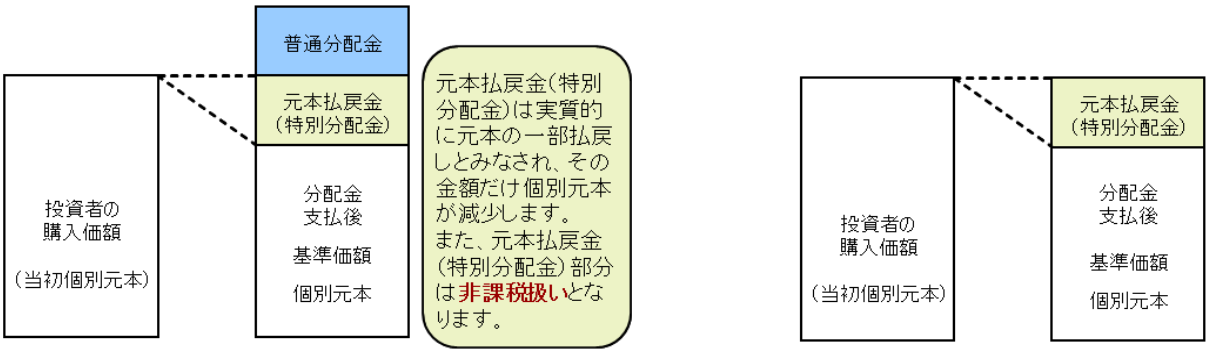
前期決算日から基準価額が上昇した場合　**前期決算日から基準価額が下落した場合**



（注）分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

◆ **投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。**

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合　**分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合**



普通分配金 ： 個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金（特別分配金） ： 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

«当資料のお取り扱いにおけるご注意»

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするためにワイエムアセットマネジメント株式会社により作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ
► ワイエムアセットマネジメント株式会社
083-223-7124（営業日の9:00～17:00）
当社ホームページ
► https://www.ymam.co.jp/

«販売会社»

販売会社（業態別、50音順）（金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社北九州銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第117号	○	○		
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第12号	○	○		
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第6号	○	○		
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第8号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。